



「自動化の行き着く先は?」 をうけて

JANOG43 Meeting in Yamanashi
2019/1/24



株式会社 エーピーコミュニケーションズ
横地 晃 (@akira6592)

はじめに

後藤さんの「自動化の行き着く先は？」
の問いかけに、自分なりに考えました。

みなさまからのご意見を引き出すきっかけ
になれば幸いです。

自己紹介

名前	横地 晃	@akira6592	
所属	株式会社エーピーコミュニケーションズ		
経歴	NW構築、開発、自社インフラ運用（前職） 自動化関連の技術開発（いま）		

JANOG43: ハッカソンスタッフ

JANOG42: Ansible ネットワーク自動化チュートリアル

JANOG41: ネットワーク運用自動化BoF

Software Design 2018年12月号 Ansible 特集



価値とは

Q. 「運用」自体には価値がないのか？

ある

Q. 価値があるとすればそれは何か？

サービスを「届ける」「続ける」という価値

媒体（メディア）のようなもの

※ 価値の考え方（自分の場合）：「〇〇がなければ、△△できない」

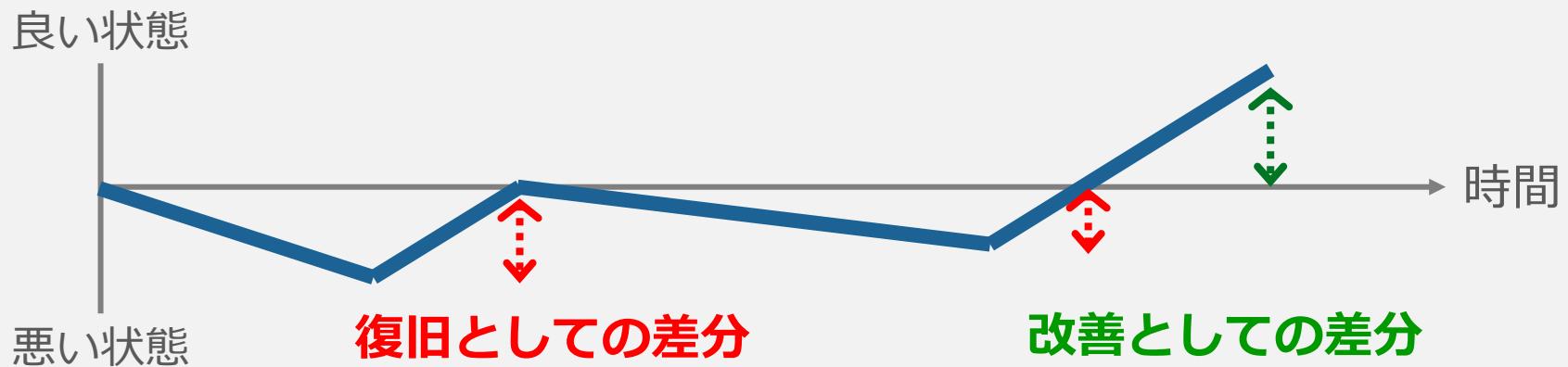
例：光の価値はあるか？「光がなければ、モノは見えない」 → 価値はある

価値のアピール

Q. どのように「アピール」すべきか？

放置するとい悪い状態になる前提のもと
差分などを測定して数値化する

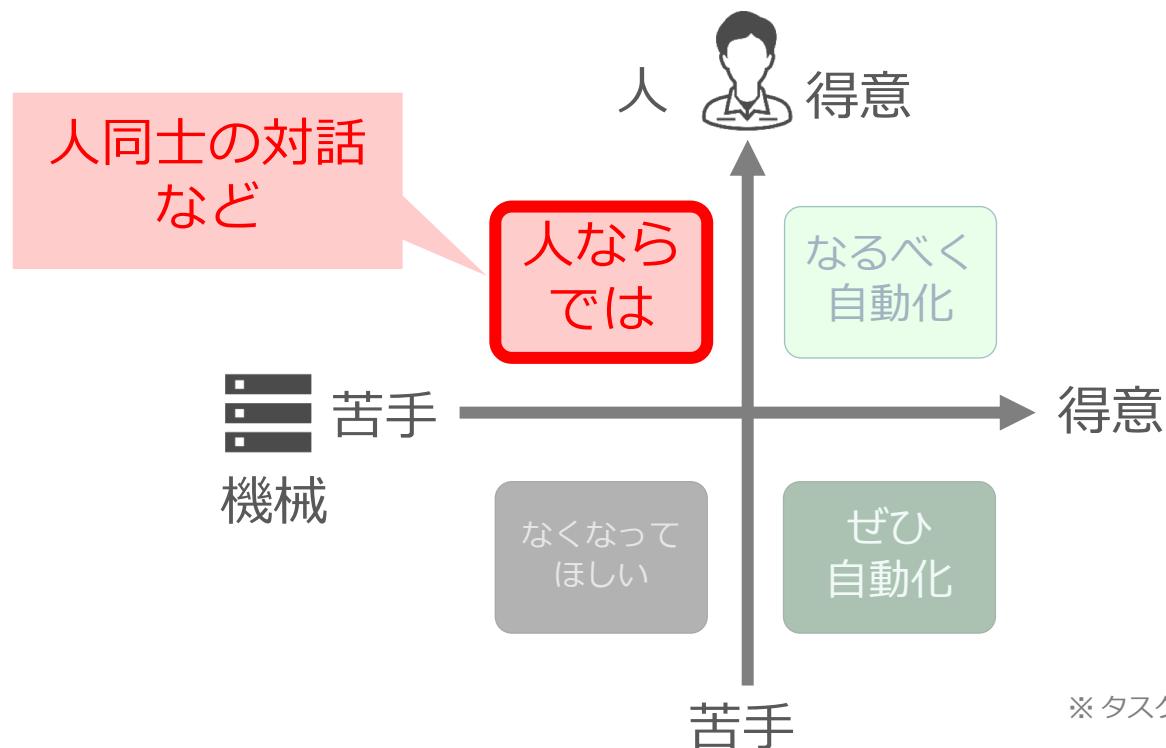
「何もしてないのに壊れた」はある (老朽化、災害、セキュリティ脅威など)



運用自動化の目的

Q.長い視点で見た場合の「運用自動化」の目的ってなんでしたっけ？

**人類に向いていない作業を排除し、
人類がやるべき作業に集中する**



何をするか

Q.で、あなたは何をします？

技術支援、一緒につくる

- あくまで運用現場が主体、主役
- 自動化を作つて「あとはお願い」では続かなそう

個人的意見のまとめ

運用の価値

サービスを届け続ける

アピール

差分などを測定して数値化
(放置すると悪い状態になることにも着目)

自動化の目的

人類がやるべき作業に集中

何をするか

技術支援、一緒につくる